



1 沿革

本校は、浜松市南部に位置する小学校で、昨年度150周年を迎えました。

明治6年6月に敷知郡高塚学校として創立し、可美村立可美小学校と名称変更を経て、平成3年5月に、現在の浜松市立可美小学校となりました。



平成16年4月に、幼児ことばの教室と通級指導教室（言語）が、2学級ずつ開設されました。そして、平成22年4月に通級指導教室（LD等）1学級開設され、平成27年4月に通級指導教室（LD等）が1学級増設されました。

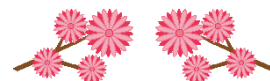


2 幼児ことばの教室、通級指導教室（言語、LD等）の紹介（R6.5.1現在）



＜幼児ことばの教室「おひさま」「あおなみ」＞

2教室あります。現在、10名の幼児の相談・指導に当たっています。学年・障害種別では、年中児1名（発音50%、吃音0%、ことばの遅れ50%）、年長児9名（発音60%、吃音10%、ことばの遅れ30%）です。

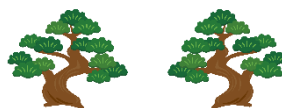


＜通級指導教室（言語）「はなもも1」「はなもも2」＞

2教室あります。現在、25名（自校10名、他校15名）の児童の相談・指導に当たっています。学年・障害種別では、低学年16名（発音78%、吃音17%、ことばの遅れ6%）、高学年9名（発音31%、吃音46%、ことばの遅れ23%）です。

＜通級指導教室（LD等）「まつかぜ1」「まつかぜ2」＞

2教室あります。現在、47名（自校16名、他校31名）の児童の相談・指導に当たっています。学年・障害種別では、低学年11名（ASD50%、LD50%）、高学年36名（ASD33%、LD31%、ADHD36%）です。



3 教材の紹介



吹きゴマ

息を吹きかけるとクルクルと回転するコマです。直接吹くときもありますが、ストローを使って吹くこともあります。

回転したときの、子供のびっくり！でも楽しい！の顔はとてもかわいいです。

遊びながら口腔機能の向上を目指します。

すごくすごろく

「カードを引く」マスで4色のカードを引いて答えます。

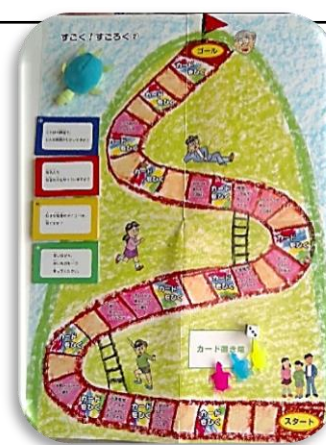
赤：自分の気持ちを話す・吃音の知識を答えるカード

青：自分の吃音のことを話すカード

黄：一般的な質問のカード

緑：いろいろな話し方のカード

本音を話せるし、吃音についての知識も増えて一石二鳥の楽しいゲームです。



カードライン

たくさんの動物（虫や鳥、魚も）のカードが入っています。そして、その動物の全長、重さ、寿命も書かれています。

5枚の動物を小さい順に並べたら、さて、次のカードは、どこに入るでしょう、と考えるゲームです。話し合いができますし、知識も増える！

会報の名前が「えがお」に決まりました。令和5年度の会員アンケートで一番、票を集めた名前です。

その名前に合わせて、会報の題字も作成しました。『静岡県の会』であることが分かるように、静岡県の形をモチーフに、お茶をイメージさせる色になっています。また、二人が微笑み合っている様子から、親と子、もしくは先生と子が笑顔で関わり合っていることが伝わるマークです。

このマークは、静言研独自のものになります。同様に「えがお」という文字も独自に作成してもらいました。マークは静言研に関わるものに使用していただきません。（県事務局にお知らせはしてください。）

このマークのように、みんなが笑顔になる静言研でありますように・・・

静言研 研究部